

科目名	基礎演習(4) (学科/商)		
担当教員	河田 祐也 (カワタ ユウヤ)	単位数	4単位
開講期間	春学期/秋学期	授業形態	演習
使用言語	日本語	開講学年	1年次のみ
開講学科・カリキュラムコード※	商SS1		
資格科目			
授業概要	この基礎演習では、マーケティング論や消費者行動論をテーマにしなが、春学期はテキストの読み方などの大学の学びで必要となる基礎力を身につけていきます。秋学期では、「マーケティング・リフレーミング (=視点が変われば、価値が生まれる)」をテーマにグループワークを行い、課題解決力やプレゼンテーションなどの実践力を身につけていきます。グループワークについては河田ゼミのInstagram (@kawatazemi) を参考にしてください。また、他の基礎演習と同様に、大学施設や図書館の利用法、講義ノートの取り方、レポートの作成法、メールのマナーなどについても学んでいきます。大学での学びの楽しさに気がつききっかけにしてください。		
到達目標	①大学で学ぶために必要となる基礎的なアカデミック・スキルの修得。 ②他者の意見に耳を傾け理解するとともに、自分の意見や考えを他者に伝えることができる。 ③グループワークの課題解決に積極的に取り組むことができる。		

カリキュラム学科 2025年度 春学期 学部 商学部 商

商学科DP		関与度
1	企業をはじめとする組織の諸活動について、その活動の運営・管理や維持・発展について考察するために必要となる知識や理論を習得している。	
2	企業をはじめとする組織の諸活動について、その社会的貢献や責任、歴史や環境等と関連づけて理解したり、文化的多様性の存在を理解したりする能力を身につけている。	
3	柔軟な適応力や総合的な判断力、確かな実践力を身につけ、高いコミュニケーション能力を有して他者と協働することができる。	◎
4	企業をはじめとする組織の諸活動について、問題を発見し、その解決に必要な多様な情報を収集・分析することができる。さらに、一定の根拠に基づき、複眼的・論理的に思考することによって、説得力のある分析や解決策を提案できる。	○
5	知的好奇心、協調性やリーダーシップ、自己管理能力などを兼ね備え、生涯を通じて自律的に学び続けることができる。	△

授業内容	
第1回	ガイダンス：基礎演習の説明、履修登録の方法、必修・選択科目等の説明
第2回	大学施設の利用方法：施設の探索
第3回	図書館ガイダンス：図書館の利用法の説明
第4回	文献の読解（テキストの読み方）：批判的読解
第5回	ディスカッションの方法：演習形式と輪読について
第6回	講義ノートの取り方①：高校の授業と大学の講義
第7回	講義ノートの取り方②：大学でのノートの取り方
第8回	大学でのメール①：アカウントと学内メール、件名、宛名、署名について。
第9回	大学でのメール②：講義の質問、課題の提出方法について
第10回	レジュメの作成法①：文献の要約について
第11回	レジュメの作成法②：重要点・疑問点の整理について
第12回	レポートの作成法①：レポートの構成について

第13回	レポートの作成法②：体裁・引用等のルールについて
第14回	データベースの活用法：学術文献、新聞記事の利用
第15回	春学期のまとめ
第16回	ガイダンス：グループワークについての説明
第17回	研究テーマの設定：視点が変われば、価値が生まれる（マーケティング・リフレーミング）
第18回	グループワーク①：課題の理解
第19回	グループワーク②：グループディスカッション
第20回	グループワーク③：中間発表の準備
第21回	中間発表
第22回	グループワーク④：フィールドワークの計画
第23回	グループワーク⑤：質問票の作成
第24回	フィールドワーク：散策による情報収集、取材
第25回	グループワーク⑥：プランの作成
第26回	プレゼンテーションの方法：PowerPointの使い方
第27回	プレゼンテーションの準備①：発表スライドの作成
第28回	プレゼンテーションの準備②：発表準備
第29回	プレゼンテーション：発表と質疑応答
第30回	秋学期のまとめ

事前事後学修(具体的な内容及び必要な時間)	事前にテキストを読み、重要点・疑問点を整理する。事後は、課題の整理を行う。グループワークでは、各段階で役割分担に基づいて準備を行う。事前事後の学修にはそれぞれ2時間程度必要になります。
試験や課題に対するフィードバック方法	テキストの読み方やレポートのまとめ方など、演習内でゆっくり確認しながら逐次コメントします。わからないことがあれば、曖昧にせず積極的に質問を行ってください。
アクティブ・ラーニング	PBL（課題解決型学修）／プレゼンテーション／ディスカッション、ディベート／グループワーク／フィールドワーク
実務経験を生かした具体的な授業内容	
学修支援システムLMS（manaba）の活用	manabaに講義資料・コンテンツの公開
受講上の注意点	大学での学びに本格的に入っていくための準備を行います。ゆっくり確実に学びましょう。
教科書	菅野仁（2008）『友だち幻想』ちくまプリマー新書、814円（税込み） * 春学期 久保田進彦（2025）『リキッド消費とは何か』新潮新書、990円（税込み） * 秋学期
参考文献	松本茂・河野哲也（2015）『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法（改訂第2版）』玉川大学出版部、1,540円（税込み）。 石井淳蔵ほか編（2019）『1からのマーケティング（第4版）』碩学舎、2,640円（税込み）。 松井剛・西川英彦編（2020）『1からの消費者行動（第2版）』碩学舎、2,640円（税込み）。

成績評価方法	評価割合
A.定期試験	0%
B.レポート	10%
C.小テスト	0%

D.発表(プレゼン・スピーチ等)		30%
E.平常点・授業への貢献度		60%
F.その他		0%
成績評価についての補足		
担当教員との連絡方法	大学アカウントのEメール (@kumagakuのアドレス)	
連絡方法 (その他)		
添付ファイル		

※カリキュラムコードは、各学科の群（分野）、必修か選択、開設学年を示しています。詳細は履修登録ガイドを参照してください。